

授業科目 (ナンバリング)	在宅医療概論 (AD116) (実践的教育科目)			担当教員	榊原 隆三*・大磯 茂*・太田 一寿* 仮屋 蘭 博子*・林 俊介*・石橋 亜矢* 兼任 (*実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
在宅医療は、従来の外来通院医療と入院医療に次ぐ第3の医療で、患者が在宅ケアを受けるためには、病院・診療所・訪問看護ステーション・薬局・福祉関係施設などのさまざまな機能を活かした地域におけるチーム医療体制（地域医療連携）の整備が不可欠である。在宅医療の現場でチーム医療を実践するには、それら施設の構成員である医師、薬剤師、看護師、栄養士、理学・作業療法士、社会福祉士等の専門性とそれぞれの職能についての相互理解や連携が必要であり、患者が必要としているケアに対応できるような臨床能力に関する総合実践力を修得する必要がある。本学の各学科を修了する多くの学生は、将来、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士など在宅医療に深いかかわりを持つ専門職を志向している。本授業の狙いは、学生諸君に、在宅医療に必要な基礎知識を身に付けてもらうこと、また、それぞれの専門職種役割とその連携の重要性を知ってもらい「在宅医療」および「地域医療連携」に対する芽生えを期待するものである。							①②⑤⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	我が国の医療における在宅医療の必要性について討議できる。在宅医療には多職種の連携が必要であることを説明できる。在宅で療養を行っている対象者の特性(疾病や障がいなど)について説明できる。				レポート	40%	
情報収集、分析力	在宅医療に関わる多くの専門職種を類別できる。在宅療養者に対し、それぞれの職種による必要な支援について説明できる。				レポート	30%	
コミュニケーション力	在宅医療に関わる問題点や課題について討議できる。				レポート	10%	
協働・課題解決力	それぞれの職種の立場から在宅療養者への支援を提案できる。				レポート	20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
講義毎に課すレポートで評価する。レポートのフィードバックはポートフォリオ上で行う。SGDを行った講義では、SGDの内容をレポートに反映させた内容を含めて各授業内容について学んだ点について記入する。全講義時間の3分の1を超える欠席があった学生は、単位認定を行わない。							
授業の概要							
各専門の立場から、授業時に配布する資料、パワーポイント等を使用し講義を行う。授業で学んだことを深めるために、Web 講座「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアの基礎知識」(http://www.hhc-nagasaki.jp/webkouza/)を参考にすること。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：指定なし 参考書：明日の在宅医療1～7巻（中央法規） 指定図書：在宅医療多職種連携ハンドブック“最期まで住み慣れた地域での生活”を支援する（法研） http://www.hhc-nagasaki.jp/webkouza/ （Web 講座）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
オムニバス形式の講義に全回出席し、積極的な質問などを期待する。全体に関する質問などがあれば、取りまとめ担当教員（薬学研究棟 P203：榊原、薬学研究棟 P310：大磯、5号館 H24：林、研究棟 215：石橋）に尋ねること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	総論	在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性 (榑原隆三、大磯茂*: *実務経験のある教員)	参考書・Web講座等で予習すること。 総論を復習しレポートを作成すること。	52/1039/1040
2	在宅医療に係わる専門職 (1)	在宅医療における医師の役割 (太田一寿: 実務経験のある教員)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1035
3	在宅医療に係わる専門職 (2)	在宅医療における薬剤師の役割 (七嶋和孝: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1041
4	在宅医療に係わる専門職 (3)	在宅医療におけるケアマネージャーの役割 (鷲峯志保: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	52/54/1035
5	在宅医療に係わる専門職 (4)	在宅医療における歯科医師の役割 (豊屋文人: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1035
6	在宅医療に係わる専門職 (5)	在宅医療における調剤と薬の知識 (仮屋菌博: 実務経験のある教員)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	1026
7	在宅医療に係わる専門職 (6)	在宅医療における看護師の役割 (越智幸代: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1035
8	在宅医療に係わる専門職 (7)	在宅医療における薬局薬剤師の役割 (徳永修: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1041
9	在宅医療に係わる専門職 (8)	在宅医療における地域包括支援センターの役割 (未定)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	53/54/99/112/ 1039
10	在宅医療に係わる専門職 (9)	在宅医療における管理栄養士の役割 (林俊介: 実務経験のある教員)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1035/1040
11	在宅医療に係わる専門職 (10)	在宅医療における認定看護師の役割 (石橋亜矢: 実務経験のある教員)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/905/1035/ 1040
12	在宅医療に係わる専門職 (11)	在宅医療における病院看護師の役割 (高田寿美子: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/905/1035/ 1040
13	在宅医療に係わる専門職 (12)	在宅医療におけるPT、OT、STの役割 (井手伸二: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	54/1035/1040
14	在宅医療に係わる専門職 (13)	在宅医療における地域連携室の役割 (永田敬博: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	53/54/99/112/ 1039
15	在宅医療に係わる専門職 (14)	在宅医療における行政のサポート (藤田利枝: ゲストスピーカー・実務家)	参考書・Web講座等で予習すること。 講義を復習しレポートを作成する。	53/99/1035/ 1039/1040/1041

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。